

# ポリオ・プラス・ヘッドライナー・キット

日ごとに、私たちはポリオのない世界の目標へと近づいています。ポリオ撲滅の必要性和この歴史的な保健運動におけるロータリーの貢献を、これまで以上に広く人々に理解してもらうことが重要です。地元のメディアは、ロータリーのメッセージを世界に伝える効果的な手段となります。

ポリオ・プラス・ヘッドライナー・キットは、地元でのポリオ・プラス・プログラム活動を織り交ぜながらロータリー・クラブが活用できる広報用資料です。この資料を基に、メディアは、国際的なポリオ撲滅の話題を地元の視点で取り上げることができます。

メディアに働きかける際は、以下のステップを参考にしてください。

## 対象となるメディアを特定する

メディアに話題を送る前に、各メディアの表現手段を調べてください。地元紙やテレビ番組を見て、ポリオ撲滅におけるロータリーの役割が伝えられるような具体的なコラムや番組枠(健康コーナーや慈善事業セクションなど)を特定しておきます。

## メディアのリストを作成する

対象のメディアを特定した後、それぞれの話題について配布先のリストをまとめます。このリストには、ロータリーに特に関心を持ってくれそうな記者、編集者、ニュース・ディレクターの氏名、電話番号、ファックス番号、Eメールアドレスを含めます。大規模な新聞社や放送局には、健康や地域社会ボランティアを特別に扱う部門や記者がいる可能性があり、ポリオ関連の話題はここへ提供するとよいでしょう。

## メディアに連絡する

メディアに話題を提供するにはいくつかの方法があります。どのような方法であっても、説得力のある方法で、粘り強く(ただし攻撃的になることなく)、友好的なアプローチをとります。記者それぞれの好みによって、最も効果的な方法は異なります。連絡の方法には、Eメール、電話、ファックス、郵便、個人宛の書簡、プレスキットなどがあります。

## メディアとインタビューを行う

記者は常に、人間味があり、心温まる話題を求めています。また知識を広める話題も重宝されます。連絡が取りやすく、ロータリーのポリオ・プラス・プログラムに精通した人物にスポークスパーソン(代弁者)となってもらい、この人物が常に最新の情報を把握し、メディアに対してははっきりと話すことのできるよう準備しておくようにします。

# 目次

- 特集記事の見本
- 意見記事の見本
- 編集者への手紙の見本
- プレスリリースの見本:グローバル
- プレスリリースの見本:全国予防接種日
- プレスリリースの見本:ロータリーの2億ドルのチャレンジ
- その他のリソース:従来型のメディアを超えて

# 特集記事の見本

新聞社や雑誌社は、ロータリーの話に関心があるにもかかわらず、時間や人員の制約のため、記者を割り当てることができないのが実情です。このため、既に記事として執筆されたニュース原稿を受け付けている場合もあります。以下は、地元の新聞社や出版社に特集記事を提出する際の心得です。

- 新聞社や出版社に電話し、特集記事の編集者の氏名と連絡先を入手する
- 特集記事の担当編集者に、特集記事を郵送、Eメール、またはファックスで送信する。出版物に掲載する記事として検討してもらえるよう、特集記事編集者に宛てた挨拶文を添える

## ポリオなき世界への最後の一押し

ゲイツ財団からの2億ドルのチャレンジに取り組むロータリー・クラブ

ここ(地元地域名を挿入)、そして世界各地のロータリー・クラブが、ポリオ(小児麻痺)を世界から撲滅するために、全力を注いでいます。この撲滅活動のためにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から3億5,500万米ドルの補助金がロータリーに寄せられたことを受け、ロータリーの会員は、これに上乗せする2億ドルを独自に集めることを目標に掲げ、募金に取り組んでいます。

ポリオを撲滅するなど高すぎる目標だと考える人もいるかもしれませんが、ロータリーのこれまでの実績は、努力と根気をもってすれば撲滅が実現可能であることを裏付けています。ボランティア奉仕団体であるロータリーは、1985年に「ポリオ・プラス」という画期的なプログラムを開始し、これまでにおよそ9億米ドルを寄付してきてだけでなく、会員たちはボランティア活動に無数の時間を捧げてきました。

### [地元のロータリアンの活動を紹介し、ポリオ関連の地元のプロジェクトや募金活動を挙げる]

ポリオの流行を遠い昔のことと感じる人も多いでしょう。これまでの活動により、世界のポリオ感染者数は99パーセントも減少しました。しかし、アフリカと南アジアの一部の子供たちにとって、ポリオは未だ現実の脅威となっています。

### [ポリオ撲滅活動に携わった地元のロータリアンの話を挿入する]

わずか60セント(約65円)の経口ポリオ・ワクチンで、一人の子供を一生ポリオから守ることができます。

世界保健機関、国連児童基金(ユニセフ)、米国疾病対策センターとともに、ロータリーが主導的な役割を果たしている世界ポリオ撲滅推進計画は、深刻な資金不足に直面しており、20年以上にわたって着実に成果を上げてきたこの活動は、現在危機にさらされています。十分な資金が投入されなければ、撲滅まであと一步のポリオの感染が、再び広がる危険をはらんでいます。

この資金不足の危機を乗り越えるため、ロータリーはゲイツ財団からの3億5,500万ドルのチャレンジ補助金を熱意を持って受け入れました。ロータリーは、今後3年間で2億ドルを独自に集め、この補助金に上乗せするというチャレンジに挑みます。両者を合わせた5億5,500万ドルは、資金不足に苦しむポリオ撲滅活動に投入されます。

世界200カ国以上、33,000を超えるクラブの120万人のロータリー会員は、直ちに募金を開始し、自ら寄付しただけでなく、特別な募金活動を実施したり、地域社会の支援を求めたりするなど、支援金集めに奔走しています。ポリオ撲滅という歴史的な取り組みの詳細は、ウェブサイト([www.rotary.org/endorpolio](http://www.rotary.org/endorpolio))でも紹介されています。

####

# 意見記事の見本

意見の投稿欄は、新聞社以外の一般市民が自分の意見を述べる欄です。記事を送付する前に地元紙に投稿欄があるかどうか確認してください。以下は、地元紙に意見記事を掲載してもらうための心得です。

- 意見記事の見本を読んで確認した後、クラブまたは地区専用の便箋(レターヘッド)に文章をコピーする
- 新聞社のウェブサイトを見るか、直接電話をして、編集部の連絡先を入手し、編集者宛てに意見記事を郵便、Eメール、あるいはファックスで送る

## さようならポリオ、ありがとうロータリー

世界はポリオ(小児麻痺)という 20 世紀の最も恐ろしい疾患を撲滅する寸前まで来ています。20 世紀前半には、ポリオは、毎年 50 万もの人々を身体障害で苦しめていました。今日も引き続き、一部の発展途上国の子供たちがこの疾患の犠牲となっていますが、国際ロータリーと世界中の 120 万人のロータリー会員の努力により、近い未来、ポリオは単なる過去の記憶となっていることでしょう。

公衆衛生におけるこの画期的業績を喜ぶ前に、世界で最も貧しく人口密度の高い地域に現在もはびこるポリオ・ウィルスの感染を断ち切らなければならず、また、ウィルスが完全に根絶されたことを確認するために、今後数年間は、引き続き監視態勢を維持していかなければなりません。しかし、これは容易なことではありません。この活動における最大の課題の一つは資金不足です。

このような問題を抱える中、ゲイツ財団からロータリーに 3 億 5,500 万ドルの補助金が寄せられました。これを受け、ロータリーは、今後 3 年間で 2 億ドルを独自に集め、この補助金に上乘せすることを約束しました。両者を合わせた 5 億 5,500 万ドルは、資金不足に苦しむポリオ撲滅活動に投入されます。

ロータリーは、今日までに、およそ 9 億米ドルの資金と無数のボランティア支援を提供し、122 カ国、20 億人以上の子供を守ってきました。また、必要な経済的・技術的支援を得るために、世界各国政府にも働きかけを行っています。1995 年以来、ロータリーの熱心な働きかけが功を奏し、各国政府による寄付額は 40 億米ドルを超えるまでとなりました。

ポリオ撲滅のための募金に加え、ロータリー会員は、診療所を手伝い、ワクチンを搬送し、医療品を寄贈し、予防接種のために地域社会を動員し、その他のポリオ撲滅活動を行うなどして、ポリオと闘うために現場で時間を捧げ、専門技術を提供してきました。現在までに、世界中で百万人以上のロータリー会員がポリオ撲滅に向けて貢献し、地球規模の保健活動において民間組織がいかに多大な影響を与えることができるかを実証してきました。

ポリオ・プラス・プログラムは、世界的な保健推進活動に対する民間部門の支援としては最大のものです。ロータリーの役割は、アナン元国連事務総長によって、21 世紀の官民パートナーシップのモデルであると高く評価されました。世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター(CDC)が、ロータリーの主要なパートナーとして世界的なポリオ撲滅活動に参加しています。

ひとたび撲滅すれば、ポリオは天然痘に次いで、これまでに根絶されたわずか 2 つの疫病の一つに数えられることとなります。ロータリーの会員はこれからも人道的活動を継続し、自らの標語とする「超我の奉仕」を実践していきます。

# 編集者への手紙の見本

ニュース記事にロータリーへの言及がない場合

世界的なポリオ撲滅活動に関する記事で、ロータリーの存在が見過ごされているケースがあります。このような省略は、しばしば情報不足が原因となっています。編集者はポリオ撲滅活動におけるロータリーの役割を単に知らないのです。編集者への手紙の中で地域社会におけるロータリーの役割について説明することで、このような状況を改善することができます。以下は、地元紙で手紙を掲載してもらうための心得です。

- 手紙の見本を読んで確認した後、地元の事例と連絡先を挿入し、クラブまたは地区専用の便箋(レターヘッド)に文章をコピーする
- 新聞社のウェブサイトを見るか、直接電話をして、編集部の連絡先を入手し、編集者宛てに手紙を郵便、Eメール、あるいはファックスで送る

---

編集長各位

最近、世界のポリオ撲滅活動に関する報道記事、**[記事のタイトルと日付を挿入]**がありましたが、この撲滅推進の主要団体である国際ロータリーについての言及がありませんでした。

200以上の国と地域に33,000近くのクラブを持つ人道奉仕団体、ロータリーは、1985年にポリオ撲滅を最優先事項として掲げました。世界ポリオ撲滅推進計画が立ち上げられたのは、ほかでもなく、ロータリーが思い描いた「ポリオのない世界」という構想がきっかけとなったのです。世界保健機関(WHO)、国際ロータリー、国連児童基金(ユニセフ)、米国疾病対策センター(CDC)がこの活動を主導しています。

民間部門の主要な貢献者であり、ボランティアの担い手であるロータリーは、これまでにおよそ9億米ドルを寄付しただけでなく、その会員は122カ国の20億人以上の子供たちに予防接種を行うために、無数の時間を捧げてきました。

現在、このポリオ撲滅活動は、資金不足という深刻な危機に直面しています。この危機を乗り越えるため、ロータリーは、ゲイツ財団からの3億5,500万ドルのチャレンジ補助金を熱意を持って受け入れました。ロータリーは、今後3年間で2億ドルを独自に集め、この補助金に上乗せするというチャレンジに挑みます。両者を合わせた5億5,500万ドルは、資金不足に苦しむポリオ撲滅活動に投入されます。

## **[ポリオ撲滅のためのボランティア活動や募金活動の地元での例をここに挿入する]**

ほかに類を見ないこのような全世界的協力活動の結果、世界におけるポリオの感染者数は99パーセント減少し、500万人がポリオの後遺症による身体障害を免れただけでなく、25万人の子供たちの命が救われました。

このような功績は、1つの団体だけでは決して成し遂げられるものではありません。世界は、ポリオ撲滅の勝利を目前にしています。今こそ、公益のために力を合わせることで、想像を超えるような素晴らしいことが成し遂げられるのだということを世界中に伝えなければなりません。読者の方々も、ウェブサイト([www.rotary.org/endpolio](http://www.rotary.org/endpolio)、英語)を通じて、ポリオとの闘いに貢献することができます。

**[署名]**

---

# プレスリリースの見本

グローバル

プレスリリースは、広報で最もよく使われる方法の一つです。

プレスリリースの見本を読んで地元用に修正し、クラブまたは地区の連絡担当者、地元のプロジェクト例などの情報を加えた後、クラブあるいは地区専用の便箋(レターヘッド)にコピーします。プレスリリースは地元の新聞社や出版社で記事の割り当てを担当する編集者に送ります。

このプレスリリースは、ポリオのない地域に所在するクラブでも、またポリオと現在も闘っている地域のクラブでも、時と場所にかかわらず使用することができます。全国予防接種日の数日前にこのプレスリリースを配布してください。

連絡先: (氏名)  
(住所)  
(電話)

即時発行用  
[発信の日付]

## 世界的なポリオ撲滅活動でボランティアを先導するロータリー

(都市、国、日付) — 世界 200 以上の国や地域のロータリー・クラブ会員が、全世界からポリオ(脊髄性小児麻痺)を撲滅する地球規模の活動を主導しています。

ロータリーは、撲滅運動における民間で最大の貢献団体として、世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフとともに、世界ポリオ撲滅推進計画を先導してきました。身体障害という後遺症をもたらし、ときに命も奪うポリオを根絶するため、ロータリーはこれまでに約 9 億米ドル以上を寄付してきました。

さらに、100 万人以上のロータリー会員が無数の時間をボランティアに捧げ、20 年間という長い年月にわたり、122 カ国以上で 20 億人近くの子供たちに予防接種を行ってきました。

ロータリーの会員がボランティアで大衆への宣伝活動を行い、予防接種会場へワクチンを搬送し、子供たちの口に数滴の経口ポリオ・ワクチンを投与するなど、全国予防接種日を推進し、予防接種の実施現場で必要な援助を提供しています。

ロータリー会員は、地域社会の動員や予防接種活動の推進に必要なさまざまな物資を提供しながら、現在もこの疾患と闘う国々に援助の手を差し伸べています。ロータリーはまた、ポリオの最後の感染者を一人残らず突き止めるのに必要な検査施設のネットワークに、極めて重要な援助も提供しています。

これに加え、ロータリーは必要な経済的・技術的支援を得るために、世界各国政府に働きかけています。1995 年以来、ロータリーの熱心な働きかけが功を奏し、各国政府による寄付額は米貨 40 億ドルを超えるまでとなりました。

ロータリー会員としてボランティア活動をする[**クラブまたは地区の広報担当者の氏名を挿入**]さんは、世界ポリオ撲滅におけるロータリーの貢献を、大規模な推進活動に取り組むために結束した政府とボランティア団体の不可欠な協力だと見えています。「単独でこの仕事ができる団体などありません。非政治

的、非宗教的な団体であるロータリーは、この協力関係において、地域社会のニーズに目を向けます。それは、私たち自身が地域社会の一員だからです」

ポリオとの闘いでは目覚ましい成果が上がっています。1988年に年間35万件だったポリオの感染者数は、2009年に1,700件以下にまで減少しました。現在ポリオが常在するのは、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンの4カ国のみとなっています。米国は1994年にポリオのない国と宣言され、2000年には西太平洋地域、2002年にはヨーロッパが、同様の宣言を受けました。

####



# プレスリリースの見本

全国予防接種日

このプレスリリースは、ポリオ常在国で全国予防接種日 (NID) に直接参加するロータリアンやロータリー・クラブが利用することができます。このリリースは、一般のポリオ予防接種活動を推進する上でも役立ちます。

連絡先: (氏名) 即時発行用  
(住所) [発信の日付]  
(電話)

## ポリオ予防接種のために親たちを説得するロータリー

**(国名、都市、日付)** — **(都市、クラブ名)** ロータリー・クラブの会員は、今週、地域社会を回り、**(全国予防接種日の日付)** に予定されている全国予防接種日 (NID) に子供たちを指定の予防接種会場に連れてきて、ポリオの予防接種を受けさせるよう親たちに懸命に呼びかけています。

全国予防接種は、全世界からポリオを撲滅する国際的な保健戦略の一環となる活動です。世界ポリオ撲滅推進計画において民間部門を代表する組織である国際ロータリーは、これまでにおよそ 8 億ドルを寄付しました。さらにロータリー会員のボランティアは、予防接種の実施会場で必要な援助活動を行っています。**(国名)** では、総勢 **(国内のロータリアン総数)** 名のロータリアンが、この歴史的な保健推進計画に莫大な時間とエネルギーを注いでいます。**(全国予防接種日に関連する活動例をここに挿入)**

200 以上の国および地域に会員を擁するロータリーは、全国予防接種日の期間中に医療チームを援助し、ワクチンや医療関係者を接種会場まで搬送し、子供たちにワクチンを投与し、ポリオの発生を監視するための検査施設整備を支援しています。ロータリー会員はまた、この世界的な努力を援助するために医療備品の寄贈も行っています。

ロータリーのボランティアである **(クラブや地区のスポークスマンの氏名を挿入)** 氏は、全国予防接種日を、政府とボランティア団体の協力の成功例であると見ています。「単独でこの仕事ができる団体などありません。ロータリー・クラブは地域社会の一員であり、会員はそれぞれの地域社会に奉仕します。子供たちに予防接種を行うことの大切さを父兄に伝える上で、会員が役立っているのです」

世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター (CDC) などが、ロータリーの主なパートナーとして、世界的なポリオ撲滅活動に取り組んでいます。

WHO によれば、全国予防接種日のほかにも、主な撲滅対策として、定期的な予防接種率の維持 (年間を通して子供に定期的に予防接種)、ポリオの疑いのある感染例を特定するための厳重な届け出制度と検査施設ネットワークの維持、症例が確認された際にその地域一帯で経口ワクチンの一斉投与を行い、ポリオの病原体が残っている地域の子供たちを守るなどがあります。

ポリオとの闘いでは目覚ましい成果が上がっています。1988 年以来、200 国以上から 2,000 万人のボランティアと 60 億米ドルもの国際投資というかつてないほどの支援を得て、世界中の子供 20 億人がポリオの予防接種を受けてきました。1988 年以来、35 万件あったポリオの症例は、2009 年に 1,700 件以下にまで減少しています。

###

# プレスリリースの見本

ロータリーの2億ドルのチャレンジ

このプレスリリースはロータリーの2億ドルのチャレンジのためのクラブの募金活動を紹介するものです。

連絡先: (氏名)

(住所)

即時発行用

(電話)

[日付]

## [クラブ名]ロータリー・クラブが、世界中から ポリオをなくすため[ ]米ドルを募金

(日付、国、都市) – ゲイツ財団から寄せられた3億5,500万米ドルの補助金に上乗せするために2億ドルを独自に集めるといふ国際ロータリーの募金活動の一環として、[クラブ名]ロータリー・クラブが、[寄付額]米ドルを集めました。

### [募金活動やポリオ撲滅の認識向上活動に携わった地元クラブや地区の話挿入]

200以上の国と地域に33,000近くのクラブを持つ人道奉仕団体、ロータリーは、1985年にポリオ撲滅を最優先事項として掲げました。世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)における民間部門の主要な貢献団体であり、ボランティアの担い手であるロータリーは、それ以来、およそ9億米ドルを寄付してきました。ロータリーの会員は、122カ国の20億人以上の子供たちに予防接種を行うために、無数の時間をボランティアに捧げてきました。

「ポリオ撲滅があと一步というところまで前進できた背景には、ロータリー会員の並々ならぬ尽力があり、これが極めて重要な役割を果たしました」と、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の共同会長であるビル・ゲイツ氏は述べます。「ポリオの撲滅は、公衆衛生の分野において歴史に残る偉業となるでしょう。この目標を果たすために、私たちは全力を傾けています」

地元でボランティア活動をするロータリー会員、[クラブまたは地区の代表者の氏名挿入]氏は、「ポリオのない世界」を実現するというロータリーの約束を果たすための方法の一つが、募金活動であると考えます。「20年前、私たちは、手足を不自由にし、時には命さえ奪いかねないこの病を、世界から完全に根絶することを約束しました。勝利まであと一步のところまでこぎつけた今、世界の子供たちへの約束を果たすために、私たちはできる限りの力を尽くしていきます」

ポリオとの闘いでは目覚ましい成果が上がっています。1988年以来、ポリオの感染者数は35万件から1,700件以下(2009年)にまで減少しました。今日、世界の人口の70パーセントが、ポリオのない地域に住んでいます。米国は1994年にポリオのない国と宣言され、2000年には西太平洋地域が、2002年にはヨーロッパが、同様の宣言を受けました。

ポリオは感染率の高い疾患で、アフリカや南アジアの一部の国々では今なお、主に5歳未満の幼児がこの病に冒されています。ポリオは身体を麻痺させ、時には死に至らしめることもあります。治療法のないポリオに対する最善の対策は予防です。わずか60セントの経口ワクチンで、一人の子供を一生ポリオから守ることができます。

世界ポリオ撲滅推進活動は、世界保健機関、国際ロータリー、米国疾病対策センター(CDC)、国連児童基金(ユニセフ)が主導しています。

詳細は、[www.rotary.org/endpolio](http://www.rotary.org/endpolio)をご参照ください。

# その他のリソース

## 公共奉仕広告

ロータリー・クラブはニュース記事以外の方法でも、公共イメージを向上させ、世界的なポリオ撲滅活動に対する認識を高めることができます。

国際ロータリーは、印刷媒体、看板、インターネット広告などに使える公共奉仕広告を用意しており、これを地元向けに修正して活用するようすべてのクラブに奨励しています。

ポリオに焦点を当てた資料をはじめ、数々の公共奉仕広告を、ウェブサイト([www.rotary.org](http://www.rotary.org))からダウンロードすることができます。

## 新聞の記事広告

地元の新聞に記事広告を入れてもらうことで、地元や海外におけるロータリーの善行を紹介することができます。クラブ会員には各自の事業用に広告スペースを購入してもらい、記事広告を支援してもらいます。新聞の編集者とともに、地元と世界各地でのロータリーの奉仕活動、特にポリオ・プラスに焦点を当てた話題をまとめます。

## 写真

優れた話題に印象的な写真を添えることで、内容を一層深めることができます。ロータリーは写真ライブラリを設けており、ここからポリオに関連した写真をダウンロードして広報に利用することができます。リンクは[こちら](#)です。

## 参加型メディア

参加型メディアでは、利用者がさまざまな話題に関する内容を書き、これをインターネットに簡単にアップロードすることができます。利用者は、アイデアや意見をこのウェブサイトに取り込むことで情報を共有することができます。こうした形態には討論フォーラム、ブログ、掲示板などがあります。

参加型メディアに掲載された内容は、インターネットの検索エンジンを使って簡単に見つけることができるため、マーケティングや広告の新しい手法となっています。全国予防接種日へ向かう旅の様子やロータリーの2億ドルのチャレンジに向けたクラブの募金活動の様子をブログとして記録することを検討してください。

## 「End Polio Now (今こそポリオ撲滅のとき)」資料

ロータリアンをはじめとする支援者は、ウェブサイト([www.rotary.org/endpolio](http://www.rotary.org/endpolio))からロータリーの2億ドルのチャレンジに寄付することで、目標達成を支援し、次世代に「ポリオのない世界」という遺産を残すことができます。クラブや地区のウェブサイトはこのリンクを張り、募金活動でもこのウェブページを広報してください。

ロータリーのチャレンジを推進する際には「End Polio Now」ピン(988-MUP)をご利用ください。100個、50米ドルでご購入いただけます。

「ロータリーの2億ドルのチャレンジパンフレット」(986-JA)を配布して、ロータリーのチャレンジへの支援を呼びかけることができます。このパンフレットは、ロータリアンとロータリアン以外の支援者にポリオ撲滅に対するロータリーの懸命な取り組みを説明するものです。無料で、9カ国語で発行されています。「ロータリーの2億ドルのチャレンジポスター」(987-JA)を、ロータリーの会合、募金活動、そのほかの行事で活用し、ロータリーのチャレンジへの参加を呼びかけることもできます。無料で(1注文につき2枚まで)、9カ国語で発行されています。

推進資料のご注文は RI 世界本部の Publications Order Services (電話: 1-847-866-4600、ファックス: 1-847-866-3276、Eメール: [shop.rotary@rotary.org](mailto:shop.rotary@rotary.org))、または日本事務局資料室まで。オンライン <http://shop.rotary.org/catalog> でもお求めいただけます。